

美しき52匹の「黒い塊」
黒猫ばかり



Booko ねこ部



美しき 52 匹の「黒い塊」
黒猫ばかり

Booko ねこ部

はじめに 「責任重大である」

大事な黒猫を預かって……

はじめまして。Bookoねこ部です。

たくさんの黒猫さんをお預かりして、この本を作ることができました。

黒猫好きの私が「黒猫ばかりの写真集が作りたい」という思いから始まったこの企画ですが、応募が増えるにつれ「これは責任重大である」というプレッシャーが。

「写真がうまく撮れませんが、いいですか？」

「写真が届いたか心配なので、再送します」

「やっぱりこっちの写真をお願いします」

「下手くそな写真でごめんなさい」

うちの猫の写真がちゃんと届いたかどうか、この写真がベストショットだったか。

飼い主は心配なのです。

痛いほど、気持ちがわかりすぎる。

だから「責任重大である」。

もし写真と名前を間違ってしまったらどうしよう。

どっちの写真がイチオシなんだろう。

そんなことを考えながら、この本を作りました。

黒猫さんへのコメントには、一言ひとこと、主さんの愛が溢れていて、ジーンとさせられました。

そんな大事な大事な黒猫さんを預かっているのだと思うと、「やっぱり、責任重大である」。

兼ねてから思っていたのですが、黒猫の主は愛が重いタイプが多い気がします。黒猫 Lover。

みんな真っ黒だけど「うちの子は特に可愛い」と思ったことはありませんか？ 私は思っていました！

「黒猫はみんな同じに見える」と言われても「うちの子は、どんなことがあっても、わかる」と。

ということで、ちょっとした仕掛けもしました。うちの子探しも楽しんでいただければと思います！

うちの子が世界で一番愛おしい。でも、よその子もたまらなく可愛い。

猫の魅力はそんなところにあるなあと思います。

2024年9月6日 Bookoねこ部

目次

2 はじめに — 責任重大である

7 1 うちの猫さがし

13 2 ポーズが独特で賞

14 「長すぎる猫」

15 「黒すぎる猫」

16 「目力ありすぎる猫」

17 「わがままボディすぎる猫」

18 column — 世界で最も美しい、黒い塊

19 3 みんなの黒猫さん

20 ムタちゃん／音ちゃん

22 ジジちゃん／あんずちゃん

24 クロノちゃん／うみちゃん

26 クロちゃん／リョータちゃん

28 やまとちゃん／ジジちゃん

30 おはぎちゃん／あんずちゃん

32 ピエールちゃん／ぶーちゃん

34 もっちゃん／ひじきちゃん

36 しゅうまいちゃん／みーちゃん

38 福ちゃん／あんこちゃん

40 炭吾郎ちゃん／小次郎ちゃん

42 ノアちゃん／ジジちゃん

44 まるちゃん／ナナちゃん

46 ネロちゃん／ポチちゃん

48 豆ちゃん／小豆ちゃん

50 カギちゃん／つむぎちゃん

52 熊ちゃん／きくらげちゃん

54 夜空ちゃん／夜海ちゃん

56 クインちゃん／エドワードちゃん&エマちゃん

58 くろすけちゃん／まるちゃん

60 乃輪ちゃん／げげちゃん

62 タンゴちゃん／クロゴマちゃん

64 コハクちゃん／くろすけちゃん

66 デルちゃん／みー子ちゃん

68 黒みつちゃん

70 column — 友人の猫と私の秘密

71 4 黒猫写真家・沖昌之 もふもふしたい

72 くま音ちゃん

74 ないとちゃん

76 column — 隠しきれない猫への愛

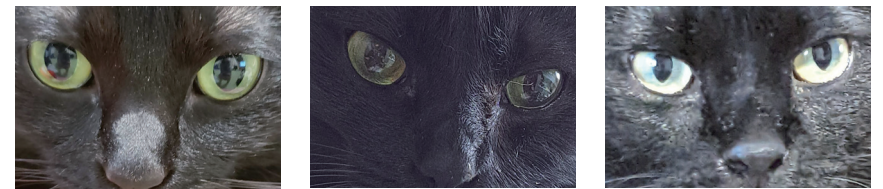
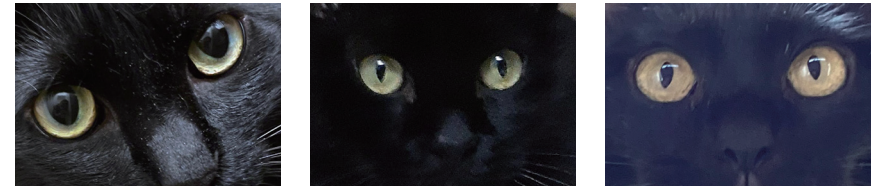
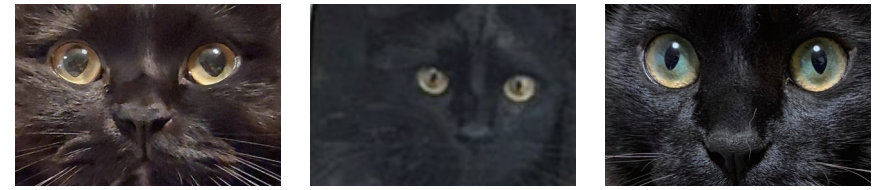
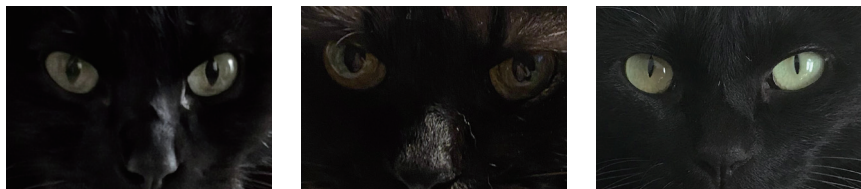
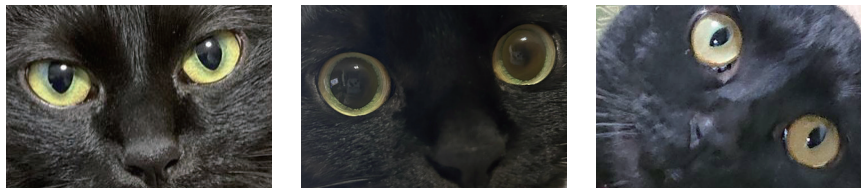
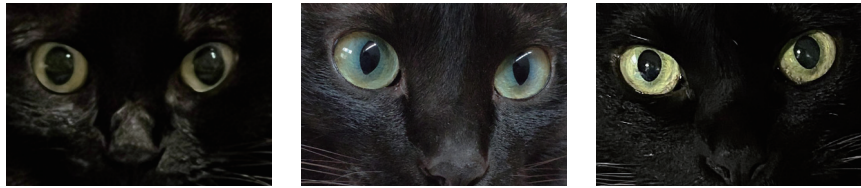
77 5 Booko 看板猫のかがみ

78 福助ちゃん

80 おわりに — 黒猫がくれた出会い

1

うちの猫さがし



Column

世界で最も美しい、黒い塊

写真には映らない、距離感や信頼感

黒く艶やかな毛並みに、まん丸のおめめ。
黒猫写真の課題はだいたい「黒い塊」に見えるということ。

飼い主の目には、毛の一本一本までが見えているのに、写真に撮るとなぜか黒い塊に。目をつぶっていたら、どこが頭かさえわからない。

スマホカメラの性能が格段に上がったとはいえ、油断できない。黒に合わせるとハレーションを起こし、明るい場所に合わせると主役の猫は黒い塊になってしまう。

「うちの子も応募したいけど、写真が難しくて……」「真っ黒な写真でもいいんですか？」という声が多数寄せられましたが、「心の目で見るので、黒い塊でもオッケー」と答えていました。

見れば見るほど、黒い塊の中から訴えてくるものがあります。

飼い主さんとの距離感や信頼感。
飼い主にしか見せない表情や仕草。

そう、黒猫との日常の「幸せ」そのもの。

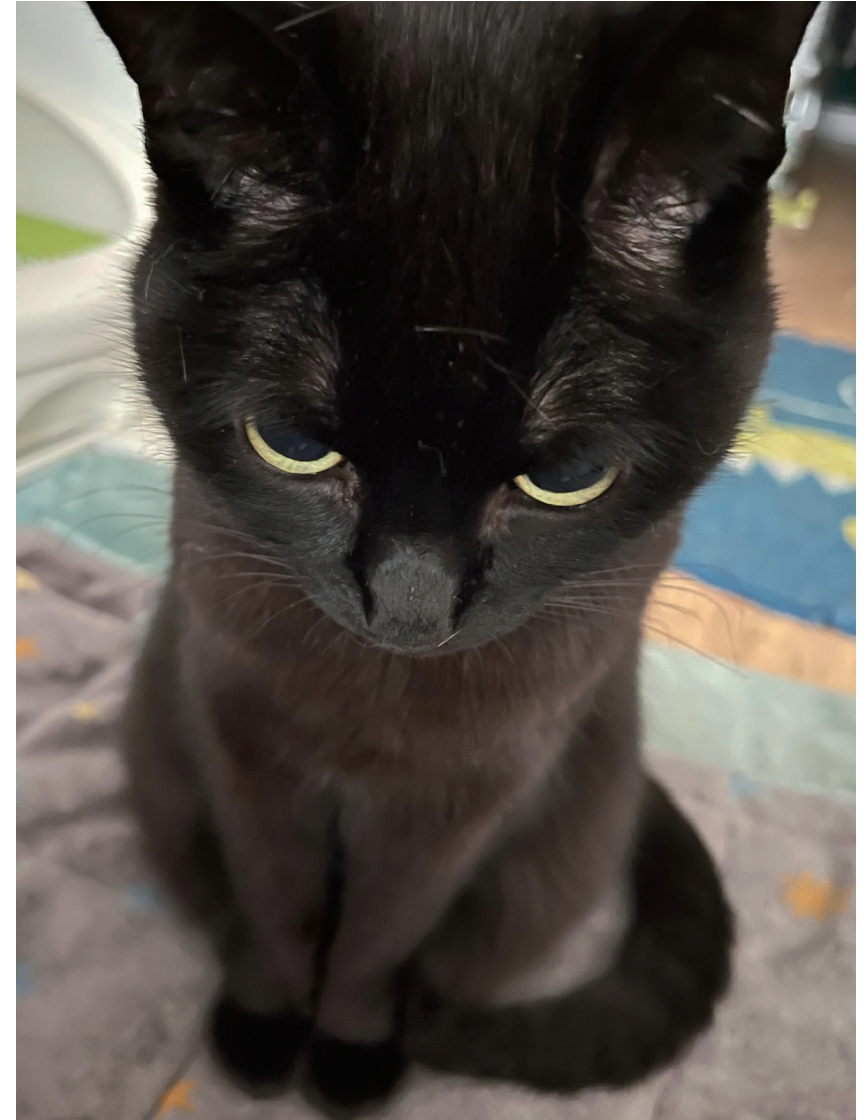
Booko 中の人



ムタちゃん (オス・15歳)

飼い主：ばうさん

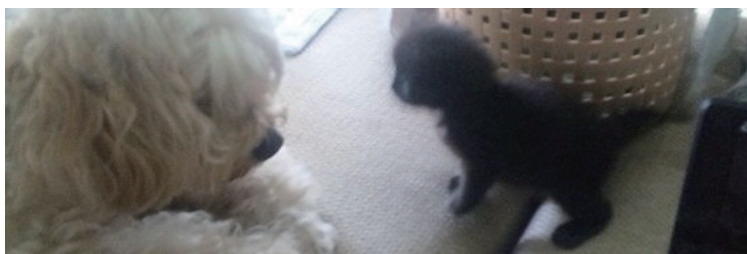
手足の長いスレンダーさと、仔猫の様な可愛い鳴き声。まん丸おめめでいつも色々なモノを見えています。人間に色々話しかけてきます。ママネコやお姉さんネコたちにいつも怒られてもめげずに遊びに誘う、ガッツある末っ子ちゃんです。



音ちゃん (メス・7歳)

飼い主：音子さん

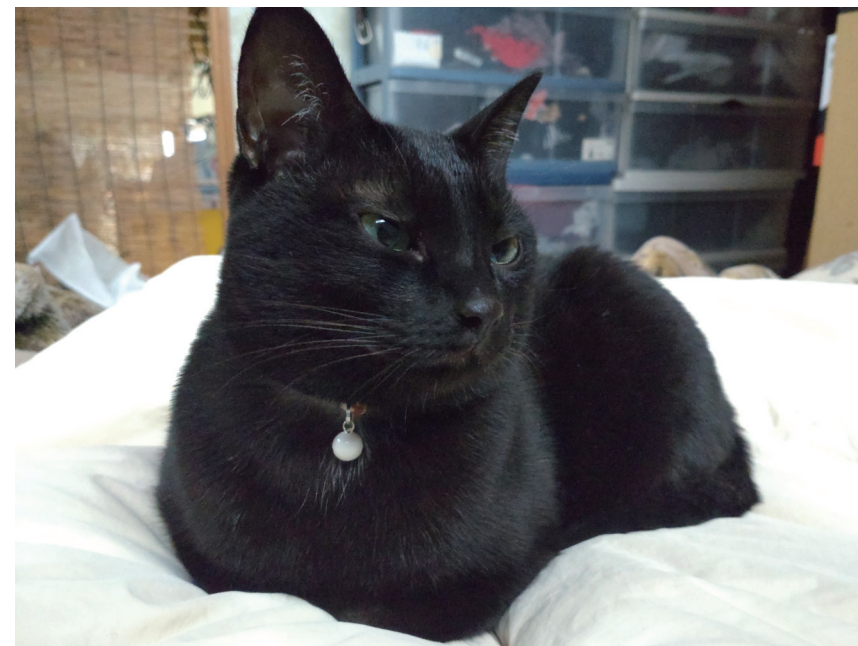
ビビリでワガママなところもあるけれど、とっても優しい子。おまけに美人ちゃん♡



ジジちゃん (メス・16歳)

飼い主：ばうさん

足の短さを感じさせない立派なシッポの長毛さん。ハスキーボイスで鳴き声がカエルみたいな所が、より彼女の魅力を引き立てています。
犬と生活していたせいか、名前を呼ぶとゴロゴロいいながらすく来てくれるお利口さんです。



あんずちゃん (メス・5歳)

飼い主：きなこはんさん

甘えん坊で食いしん坊で暴れん坊でさみしん坊でいやしん坊なあんず。チャームポイントは宝石の様な目です。

Column

竹本よみを「友人の猫と私の秘密」

友人の飼い猫は、少し大きくて黒くて、しっぽが長い。子猫から成猫になる途中くらいである団体に保護されて、紆余曲折あって友人の元にやってきた。

子供の頃に猫飼いだった私は、「猫は警戒心が強いから、最初は隠れて出てこないかも」と先輩面で告げたが、その猫は初日から友人と一緒に寝るような猫だった。

その日から友人と飼い猫は相思相愛……と言うと、ちょっと、嘘になる。友人の宇宙より重い一方的な愛を受けても、どんと構えた大らかな心持ち主で、友人だけでなく、人間の大人も子どもも、鳥にも犬にも猫にも動じない、堂々とした猫だった。

たまに遊びに行っても隠れるでもなく、かといって遊ぼうと接客をしてくれるでもなく、ただ、そこに当たり前のようにいる、黒くて、ふわふわで、柔らかいかたまり。

友人からいかにその猫がかわいく聡明で愛らしくて尊いか、耳にタコが出来くらい聞かされて、半分は同意できるけれど、半分は「飼い主の欲目」じゃないかなと思ってた。

いつだったか、あなたが家事かなにかをしていて、その猫以外に意識がいつている時、猫がじっとあなたを見てた。少し、目を細めて。とても、うれしそうに。私の視線に気づいた猫に「内緒ね」って言われたような気がしたので、これは猫と私だけの秘密。どうか、猫にはご内密に。

すべての猫の飼い主よ、あなたの猫はかわいくて聡明で愛らしく、尊い。唯一無二に出会えて、本当によかった。

そして、すべての猫よ、あなたの飼い主はあなたのことをとてもとても深く愛しているので、どうかゆくりと幸せでいて。